

## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

## 京都市立大枝小学校

4月17日に、実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語科と算数科、理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

### 総合結果(国語科・算数科・理科)

国語科では、平均正答率が全国平均を上回り、府内平均とほぼ同水準で、安定した学力が育まれていることが分かりました。得点のばらつきも少なく、児童間の理解度に大きな差がないことがうかがえます。一方、算数科では全国・府平均を下回る結果となり、基礎的な理解や応用力に課題が見られました。理科では全国平均をやや上回り、府平均にも近い水準でした。学力の底上げが図られている一方で、得点のばらつきがやや大きく、児童間の理解度に差があることも分かりました。

### 国語科より

全体的によくできています。「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の領域では高い正答率を示し、表現力や伝える力が育まれていることが分かります。「知識・技能」に関する問題では、「好み」という漢字を書く正答率が低く、既習の漢字を使って文を書く習慣が大切になってきます。記述式問題もよくできていて、児童が自分の考えを文章で表す力を身につけていることがうかがえます。今後も、読む力の向上と情報活用力の育成に力を入れ、学力のさらなる充実を図ってまいります。

### 算数科より

全国や京都府の平均よりも少し低い結果です。特に「図形」や「変化と関係」の問題に課題が見られました。「コンパスを使って平行四辺形をかく」問題の正答率が低かったです。一方で、「数と計算」や「データの活用」の問題は、計算やグラフの読み取りなど、基本的な力はしっかり身につけてきています。ただし、自分の考えを文章で説明する問題では、正答率が低く、表現する力をもっと伸ばす必要があります。ご家庭でも、日常の中で数や形にふれる機会を大切にいただければと思います。

### 理科より

全国平均より少し高く、京都府平均にも近い結果でした。特に「地球」に関する問題は高い正答率で、自然や環境についてよく理解できていることが分かります。しかし、「エネルギー」に関する問題は正答率が低く、電気や熱などの分野に苦手な様子が見られました。また、記述式の問題では全国より高い正答率で、自分の考えを文章で書く力が育っていることが分かります。ご家庭でも、身近な自然や科学にふれる機会を大切にいただけると嬉しいです。

## 児童質問紙調査から ①

### Q 毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか。毎日、同じぐらいの時刻に起きていますか。

「毎日同じ時刻に寝る（21.2%）」「起きる（42.2%）」の割合が、全国や京都府と比べて低く、生活リズムが不安定な児童が多いことが分かります。生活習慣の乱れは、集中力や学習意欲の低下につながる可能性があるため、家庭との連携による生活リズムの見直しが必要です。

## 児童質問紙調査から ②

### Q 読書は好きですか

本校では、読書が「好き」と答えた児童は約3割でした。読書は語彙力や想像力を育てる大切な習慣です。ご家庭でも、読書の時間や本とのふれあいを大切にしてくださいけると嬉しいです。

## 全体を通した本校の成果と課題

本校では、「過去から現在そして未来へ続く社会を生き抜く力の育成」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組をすすめています。本校が設定しているつきたい資質・能力のひとつ「自ら学ぶ力」が具体的に目指すことは、「確かな学力・学び方を身につけ、自分の学びの積み上げができる子の育成」です。その「自分で勉強する習慣」は学力向上の大きなポイントであると考えています。本校では、児童の理解やつまずきの状況に応じて取り組むことができるプリントを作成したり、児童の学びに合った学習ツールや学習形態を選択したり、まとめテストや学習の振り返りを通して、自分の学びの到達度を知り次の学習に生かしたりするように工夫しています。学校だけでなく、家庭学習でも積み重ねが大切です。意識して取り組んでいきたいものです。

## 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくもので、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。本校の子どもたちの様子を見ると、授業や宿題に真面目に取り組む姿が見られます。今後、さらに学力を高めていくためには、決められたことをして満足するのではなく、自分で課題を見つけ解決していく力を今後、学校や家庭でつけていくことができますよう、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。